

科目名	数学演習	学年	類型・コース	単位数
		3年	自由選択5・普通	2単位
学習の目標	基礎的な計算を用いて、系統的な解き方ができる。 公式の意味を理解し、的確に使用することができる。 基本的事項を用いて、より発展的な内容について理解する。			
教科書 副教材	主たる教材：自主教材 副教材：アクセスノート数学Ⅰ+A（実教出版）			
評価	評価法	① 定期考査 ② 小テスト（課題考査を含む） ③ ワークシート ④ ファイルやワークなどの提出物 ⑤ 授業態度 で評価を行います。		
	評価 観点 の 趣 旨	a	知識・技能	基礎的な計算を用いて、系統的な解き方ができる。
		b	思考・判断・表現	公式の意味を理解し、的確に使用することができる。
		c	主体的に学習に取り組む態度	基本的事項を用いて、より発展的な内容について理解したり、もっと良い解き方はないかを追求することができる。
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。			

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	数と式①	整式の加法・減法と乗法	定期考査 小テスト 課題考査 ワークシート	定期考査 小テスト 課題考査 ワークシート 提出物	ワークシート 提出物 授業態度
	5月	8	数と式②	展開			
	6月	8	数と式③	因数分解			
	7月	4	2次関数①	2次関数のグラフ(1)			
夏休み			1学期の復習				
2学期	9月	8	2次関数②	2次関数のグラフ(2)、最大・最小 2次関数の決定	定期考査 小テスト 課題考査 ワークシート	定期考査 小テスト 課題考査 ワークシート 提出物	ワークシート 提出物 授業態度
	10月	8	三角比①	三角比の性質、正弦定理と余弦定理			
	11月	8	三角比②	三角比の面積、空間図形と三角比			
	12月	4	場合の数と確率①	場合の数			
冬休み			2学期の復習				
3学期	1月	6	場合の数と確率②	確率	定期考査 小テスト 課題考査 ワークシート	定期考査 小テスト 課題考査 ワークシート 提出物	ワークシート 提出物 授業態度
	2月						
	3月						

担当者からのメッセージ（学習方法など）

数学Ⅰ・Aの復習を行います。1年生の頃の内容とそれに関する発展的な内容を扱いますので、忘れていた分野は自分で復習するようにしましょう。1年間頑張りましょう。